

## お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

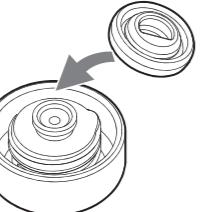
- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。
- 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、せんセットを取りつけない。本体の内圧が上がり、せんセットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 本体・せんセットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。  
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

## パッキンの取りつけ方 正しく取りつけられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、せんパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

## せんパッキンの取りつけ方

せんにせんパッキン(上下方向に注意)を取りつける。



※正しく取りつけないと、飲みものがもれる原因となります。

## 赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
  - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
  - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、湯(水)以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようご注意ください。

## こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る こ と	処 置
■せんから もれる	せんパッキンが正しく、しっかりと取りつけられていますか。	パッキンの取りつけ位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	せんパッキンが汚れていますか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていますか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
■飲みもの (本体内側・せん) がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側・せんセットやせんパッキンに茶しづなどの汚れが付着していますか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保温(保冷) が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲み물을正しい量まで入れてください。

※せん・せんパッキンは消耗品です。

使用後半年から1年を目安にご確認ください。

## アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。

その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

## 消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ① ホームページ…………トップページの交換用部品販売からお求めください。(取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店……………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

## 部品名

AKJ型 せんセット(せん、せんパッキン)

AKJ型 せんパッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>お客様相談窓口  0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00  
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ  
06-6453-9489  
06-6453-9589
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589  
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

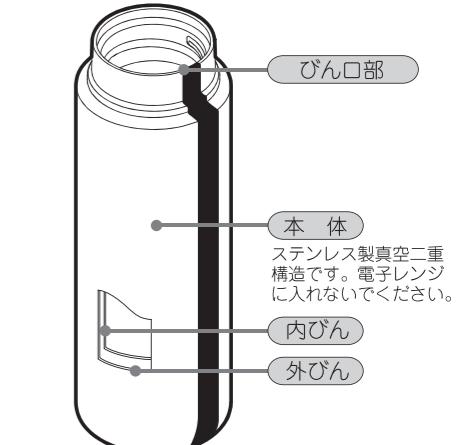
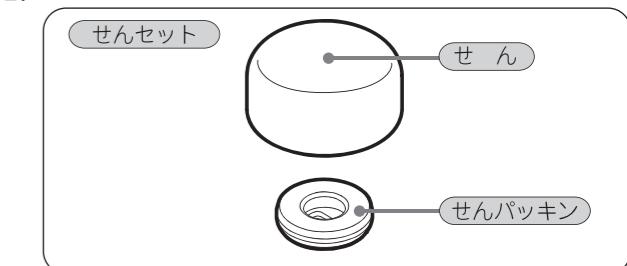
ステンレスボトル  
マグタイプ

AKJ

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきまして、  
まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書  
を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 取扱説明書

## 各部のなまえ



説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。②

# 安全上の注意

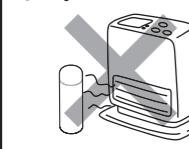
もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

## 飲みものの保温・保冷以外に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。



ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。



飲みものは、図の規定量までにする。



**絶対に入れない**

### ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、せんセットがあかなかったり、飲みものがふき出たり、部品が破損して、けがのおそれ。



### みぞ汁やスープなど、塩分を含んだもの

サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。

### 牛乳・乳飲料・果汁など

腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。

### 果肉・お茶の葉など もれなど故障の原因。

### 飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。

外出時など十分なお手入れができるときでも、すぐに本体内側をよく水ですぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

### 飲みものを入れた状態で長く放置しない。腐敗・変質の原因。

### 本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。

はがすと、保温(保冷)効力が低下するおそれ。

### 製品の横置きは避ける。もれるおそれ。

### 倒したり、落したりぶつけたり、強い衝撃を与えない。

破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものがもれる原因。

### 熱い飲みものを入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。

断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。

### 熱いやかんをびん口部に触れさせない。

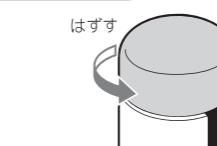
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

# ご使用方法

ご使用前にせんセット・内びんを洗ってからご使用ください。

## 1 本体からせんセットをはずす

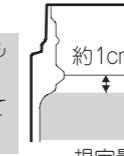
本体からせんセットを、矢印の方向にまわしてはずす。



## 2 飲みものを入れる

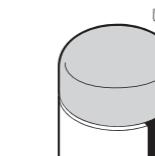
※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。  
※飲みものは図の規定量までにする。

飲み物を入れすぎてせんセットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出しがあります。入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを捨ててから、せんセットをしめてください。



## 3 せんセットをしめる

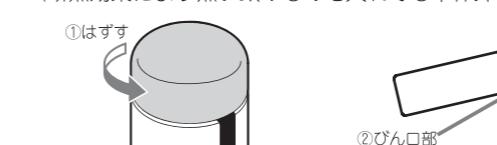
せんセットを矢印の方向にまわしてしめる。  
※せんセットは確実にしめてください。



## 4 飲みものを飲む

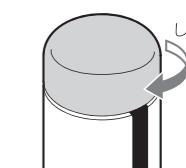
①本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてはずす。  
②びん口部に口をつけてゆっくり傾けながら飲みものを飲む。

※熱い飲みものを入れた場合は、やけどに注意してゆっくり飲む。  
(断熱効果により熱い飲みものを入れても本体外側は熱くなりません)



## 5 飲み終わったらせんセットをしめる

本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてしめる。



# お手入れの方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

## 本体外側・せんセット

本体、せんセットをぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。

## 本体内側

柄のついたスポンジブラシなどできれいに内側を洗い、十分に乾燥させる。

## パッキン

パッキンをせんから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。その後「パッキンの取りつけ方」を参考にして、せんに確実に取りつける。

(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)